

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 617

事業名	農業振興協議会負担金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 43 - 5025			項	農業費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	農業総務費・2目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 <u>食</u> づくり <u>夢あふれ</u> 働く場を生み出すまちづくり			
	まちづくりの目標	ふやさなか <u>食</u> づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	食づくりの源である豊穡の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳) 南あわじ市農業振興協議会(市、農協、酪農協、玉葱商協等)				構成人数(人) 7,919
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 就労者の高齢化及び後継者不足、地力の低下、害虫対策、残さ処理問題など産地として抱える問題を、広域的に取り組み安定した安全性の高い農産物の生産を図る。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 野菜病虫害防除推進会議、土壌病害対策推進会議、乳質改善推進会議、先端農業技術研究会議及びバイオマス利活用推進会議を組織している。				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 上記の団体を下部組織にもっており、農協、酪農協、市、県機関一体となって活動している。				
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 ()	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()
					<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
	補助金算出根拠	J Aと玉葱商協及び酪農との事業内容割				
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町	<input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町	<input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町	<input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町	<input type="checkbox"/> 旧広域事務組合	<input type="checkbox"/> 新市から

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	2,006	1,708	2,006	1,508
	農業振興協議会負担金	2,006	1,708	2,006	1,508
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	2,006	1,708	2,006	1,508
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	2,006	1,708	2,006	1,508
「構成人数」一人当り経費 (千円)	0.3	0.2	0.3	0.2	
受益者人数(7,919)一人当り経費(千円)	0.3	0.2	0.3	0.2	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) それぞれの会議は、それぞれの事務局を中心に活動し実績をあげている。	自己評価 (5点評価)
		4
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 病害の定点調査やその結果分析・報告等農家にとって貴重な情報を広域的に広報することは必要である。	自己評価 (5点評価)
		4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 南あわじ市農業振興の最上部の協議会であり、県組織も協力機関として参加しており、官民一体となって農業行政を推進している。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果 必要性</p> </div>	

Ⅳ Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減
	協議会は、南あわじの農業施策を広域的に協議している最上位の会であるので継続していく必要がある。	同左
(現状維持以外の改善方法)	各会議の予算を見直す。	同左
改善によって期待される効果	事業費の削減	同左
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 官(県農林、普及センター、技術センター)民(JA、酪農、玉葱商協)一体となった農業行政に支障を来たす。	